



# かけはし

管内6市町の  
幼・小・中・義  
務教育学校と北  
部教育事務所を  
つなぐ架け橋を  
目指します。

宮城県北部教育事務所 指導班だより 令和5年5月12日(金) 第1号

## 授業、楽しんでますか？

宮城県北部教育事務所長 齋藤 卓也

令和5年度が始まりました。先日の校長会議の会場は、「今年度こそは、子供たちにさせたかったことやろぞ。」という決意や、温めていたアイデアを実践できそうだという期待からくるやる気オーラで満たされていました。先生方も、校長先生方と同じような気持ちでいらっしゃるのでしょうか。そして、子供たちと一緒に授業を楽しむ心の余裕は少し戻ってきているのでしょうか。工夫したり試行錯誤をしたりしながら授業をすることは、本来楽しいことであり、今、進められている働き方改革が目指すことの一つには、そのための環境を整えることがあります。そして、私たち行政の仕事もそこにつながっていくものです。授業の楽しみを存分に味わえる一年になることを願い、私たち教育事務所職員も職務に励んでいますので、今年度もよろしくお願いいたします。

## 春に

副参事・班長(指導主事) 千坂 佳織

中学国語教師の私が、初めて扱った教材は「言葉の力(大岡 信著)」。教材文を読んで、感動したのを覚えています。この教材と子供たちをどう向き合わせようか。教師になって数日の私が、子供たちと教材との出会いに胸を躍らせて新学期を迎えたのは35年前です。教材文には染色家志村ふくみさんの話が出てきます。桜染めは花びらではなく、桜の皮で染めるというのです。つまり、私たちが見ている、花びらのピンクは、樹皮や樹液のピンクであり、桜は全身で色づき、花びらのピンクはほんの先端だけ姿を出しただけ。子供たちもそうかもしれません。言動に表れたものは、その子供のほんの一部。心や体のもっと深いところに、その子供の本質が隠れているに違いありません。子供たちの発達を支える伴走者として、声なき声に耳を傾け、形なき形を見ていきたいものです。

今年度も学校現場の悩みと感動を共有できるよう取り組んで参りたいと思います。

## 令和5年度 指導班スタッフへの紹介 ニューフェイス編



副参事・副班長(指導主事)  
後藤 あい

7年間、仙台、東部管内等を回り、4月に戻ってまいりました。3月に久しぶりに庁舎6階まで階段で上がったら、夜には足が苦しくなり、体力低下にショックを受けました。今は体力づくりのために6階まで一日2往復することと、昼休みのラジオ体操を頑張っています。

当時、初任者研修でお会いした先生方が中堅として活躍している様子をうかがうことも多く、とてもうれしく思っています。管内の子供たち、先生方のお役に立てるよう励みたいと思っていますので、ご指導よろしくお願いいたします。



次長(指導主事) 森山 治

この度、仙南の大河原中学校より赴任いたしました。これまで北部地域には、縁がありませんでしたが、鳴子温泉などの名勝が多いこの地域に赴任できたことをうれしく思います。温泉とサウナが週末のルーティンになっていますので、地域の魅力を堪能したいと思います！管内の子供たちや先生方、そして学校が元気いっぱい、笑顔いっぱいになれるよう、共に学ばせていただきますのでよろしくお願いいたします！



主幹(指導主事) 中里 ゆり

4月に古川第五小学校から異動となりました。引き続き北部管内でお世話になります。

少し前に、リビングに置くサウンドバーを購入し、家には間はずっと音楽をかけています。いい音で音楽を聴いたり、映画を観たりできるようになったので、家事もおうち時間も楽しくなりました。リフレッシュする時間を大切に、健康第一で頑張ります。管内の子供たちのよりよい成長のために、先生方と共に学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



指導主事 加藤 正弘

4月からお世話になっております。勝手が分からず戸惑いの日々ですが、最大の変化は通勤距離が40倍になったことでしょうか(笑)

還暦を迎えたことに加え、鮎川誠やJベックの訃報を契機に、自身の10代から20代、30代・・・年代別「My favorite songs」のプレイリスト/My音楽史づくりに励んでいます。通勤時間でラスト曲を聞き終える瞬間がなぜか快感です。



指導主事 遠藤 麻由美

3月末に定年退職をし、4月からまた指導班にお世話になっています。4年前に事務所に勤務していた時には、6階まで階段で登ることを早々に断念したので、今回は体と相談しながら、続けていく肝に銘じています。

猫が大好きで、今現在家で6匹のニャンズと共に暮らしている猫バカです。ニャンズと触れ合うことが、一番のストレス解消法です。ニャンズのしなやかさに負けないように、これから励んでいきたいです。



学び支援教室コーディネーター  
清水 祐子

この3月に定年退職をし、かわいい生徒たちとさようならをしました。さみしい思いをするのかなという心配をよそに、現在5校の実践校の子供たちにかかわらせていただきうれしく思います。各校の先生方と協力しながら子供たち一人一人の個性や特性、学び方の違いや置かれた環境等を丁寧に見取り、学習支援や自立支援につなげていければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。私生活では足首のけがを早く治し、趣味である神社仏閣巡りの旅に出掛けたいです。

